



校訓「至誠」

母校 元小

学 校 だ よ り
令 和 7 年 6 月
川口市立元郷小学校
児童数：432名



元郷小HP

～ いのちを大切にする ～ (2) 人のいのちを大切にすること

校長 根本 広徳

先日の運動会では、準備の段階から児童の健康管理や声掛け等のご協力、また、当日のご声援、準備や片付けまで、大変お世話になりました。おかげさまで、子供たちにとって思い出深い運動会になりました。ありがとうございました。今後とも、本校教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、前回に引き続き、「いのちを大切にする」についてみていきたいと思います。「いのちを大切にすること」には、(1) 自分のいのちを大切にすること、(2) 人のいのちを大切にすること、(3) 物や自然のいのちを大切にすることの3つがあります。今回は、(2) 人のいのちを大切にすることについてです。

「人のいのちを大切にすること」には、①相手の思いや願いをわかろうとすること、②相手の体や心を大事にし、傷つけないことの2つがあります。では、実際にある小学校であったことをもとに考えてみます。

○さん、△さん、□さんは、いつもいっしょに業間休みを過ごしたり、3人で下校したりしている仲良し3人組に見えました。ある日の休み時間に3人はいっしょにトイレに行きました。そこで、○さんは、△さんにむかって「今日、学校が終わったら、公園で遊ぶから絶対に来てね。来ないとなくるよ。」と言いながら、つないでいた手をぎゅっとつねりました。△さんは、放課後予定があったのですが、○さんに手をつねられたのと、「なくるよ。」と言われたのが怖くて、「行けない。」とは言えませんでした。□さんは、だまって2人の様子を見ていました。結局、△さんは放課後、公園には行かず、次の日は学校を休みました。さて、この3人組の間に、「人のいのちを大切にすること」はあったのでしょうか。どうすれば「人のいのちを大切にすること」になるのでしょうか。(講話朝会では、ここで、時間をとって子供たちがまわりの子と話し合う時間を取り、どうしたらよかったのかを考えました。そして、2年生児童が自分の考えを全校児童の前で発表しました。)

まず、○さんは、自分の思いだけを一方的に△さんに伝え、公園で遊ぶことを当然のこととっていました。△さんに予定があるかどうかは考えていなかったのでしょうか。①の相手の思いや願いをわかろうとすることをせずにした行為でした。さらに、○さんは、公園に来ないと「なくるよ。」と言い、△さんの手をつねりました。これは、②の相手の体や心を大事にせず、体と心に傷をつける行為になります。○さんは、人のいのちを大切にすることは反対のことをしていたのです。では、どうすればよかったのでしょうか。そうですね。○さんは、△さんの思い(予定がある)をわかろうとする気持ちがあれば、△さんの思いを聞いたし、その後の心や体を傷つけることもなかったでしょう。ちなみに、△さんは、きちんと予定があることを伝えることが必要だったし、□さんは、△さんがされていることをただ見ているだけではなく、○さんのやり方に意見を言う必要がありました。

人のいのちを大切にすることは、当たり前のようになかなか見過ごしてしまっていることがあります。例えば、お家で、親が子供にとってよかれと思って言っていることも、時として子供にとっては、そうではない場合もあります。子供の思いや願いをわかろうとせず、親の思いだけを押し付けてしまっている場合です。①の相手の思いや願いをわかろうとしていないことになります。さらに、しつめの面で大事だと思ってついつい、きつい言葉遣いになったり、手を出してしまったりしてしまうかもしれません。これは、②の相手の体や心を大事にしないで、傷つけてしまっていることになります。よかれと思ってやっていることを一度振り返って、これは、人のいのちを大切にしていることになるのかどうか、考える場面を学校や家庭で設けていくことで、いのちを大切にすることをみなで作り上げていきましょう。

今回は、「人のいのちを大切にすること」についてみてきました。次回は、「物や自然のいのちを大切にすること」について考えていきます。

